

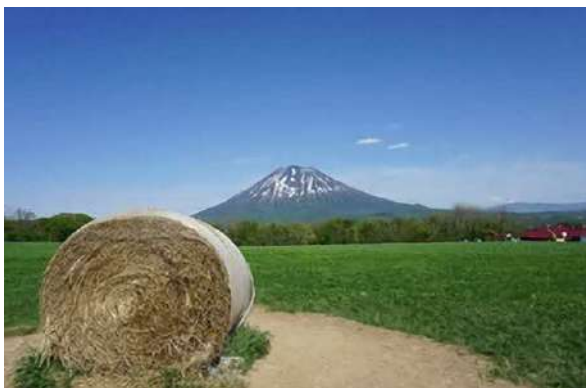
2018年6月に政府が選んだ全国29の「SDGs未来都市」に北海道、札幌市、ニセコ町、下川町の4自治体が入り、北海道が策定した「環境エネルギー先進地」や「安全・安心を実感できる社会」など5つの地域目標を掲げる「北海道SDGs推進ビジョン」の基、「誰一人取り残さない」持続可能な地域社会に向けて、様々な取組を推進しています。

SDGsをテーマとした学習フィールド

ニセコ町

**町の豊富なSDGsのコンテンツ！
個性豊かな町民と
大自然を生かしたプログラム**

SDGsの学びのエッセンスが街全体に散らばっているニセコ町。人生経験豊かで個性的な町民、国内外からの人々を受け入れる多様性、恵まれた自然環境など“町の資源”を活用した教育旅行プログラムが充実しています。



SDGs 目標番号



洞爺湖有珠山 ユネスコ世界ジオパーク

**災害に備え、地球の不思議を体感する
火山と共に生きるまちで学ぶSDGs**

世界に類を見ないほど貴重な地勢を持つ洞爺湖有珠山ジオパークでは、フィールドワークを通じた学びが魅力の一つ。火山を中心に、防災や減災、生態系など幅広い切り口からSDGsについても学習することができます。



SDGs 目標番号



ウポポイ 民族共生象徴空間

**アイヌの世界観、生活、産業の伝承を
通して、現代に生きる人の価値観を問う
きっかけに**

2020年7月にオープンした国立の施設、ウポポイ（民族共生象徴空間）。将来に向けて先住民族の尊厳を尊重し、差別のない多様で豊かな文化を持つ活力ある社会を築いていくための象徴として整備され、博物館の展示や伝統芸能の鑑賞などを通して、先住民族アイヌの文化について学ぶことができます。



SDGs 目標番号



※写真はイメージです。

提供：（公財）アイヌ民族文化財団

SDGsをテーマとした学習フィールド

三笠ジオパーク

見て、触れて、歩いて、食べて体感。
北海道の成り立ちを知る、
一億年の時間旅行

三笠市は大地の遺産である「石炭」が発見されたことを契機に開拓され、まちが形成されてきたことから市全体が三笠ジオパークとして指定されています。SDGsにも積極的に取り組み、道内ジオパークとして北海道で初めて「地域ESD活動推進拠点」にも登録しています。



SDGs 目標番号

4 6 8 11 12 14 15

株式会社アレフ えこりん村

身近なレストランが取り組む
エコ活動から、持続可能な循環型農業と
環境を学ぶ

北海道の玄関口・新千歳空港からアクセス良好な恵庭市にある「びっくりドンキー」を運営する株式会社アレフのエコロジーテーマガーデン・えこりん村では、楽しみながら食と農業、環境のつながりを学ぶことができます。



SDGs 目標番号

4 6 7 12 13 15 17

知床羅臼町観光協会

世界自然遺産と豊かな漁場がもたらす
産業。守り続ける人々とのふれ合いが
観光資源に

世界自然遺産・知床に含まれる羅臼町では、独特の海と陸の地形がもたらす自然の恩恵と、流氷と海流による豊かな海がもたらす豊富な水産資源を核に、観光地として多数の人が訪れています。地域の自然と漁業を持続させる人々の営みは、SDGsの目標にも合致するものです。



SDGs 目標番号

4 8 9 11 12 14 15 16 17